

事業所名

まごころ千曲

支援プログラム

作成日

R7

年

3月

5日

法人（事業所）理念	子どもの「したい!」「できた!」「たのしい!」を大事にします					
支援方針	子どもたち1人1人のやりたいことを大事にし、やりたいことを積極的にアピールできる場所にします。挑戦し、できたことが子どもたち1人1人の自信となって成長していけるようサポートします。子どもたちそれぞれの楽しみ方が広がるよう、いろいろな楽しみ方を探していきます。					
営業時間	14時	30分	18時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	身体の健康を維持できるよう、過不足や偏りのない飲食ができるように支援を行う。 運動・工作・調理・遊び等を楽しみ、心地よい生活が維持できるよう支援を行う。 日常生活において本人ができることを増やし、自立を促す。 健康に留意しながらも、適度な刺激とやりがいを持てる生活を送れるよう支援を行う。				
	運動・感覚	自身の体調や身体感覚を自覚し、適切に休憩を取り、また衣類の調整などを行なうことができるよう支援を行う。 適度に体を動かし、身体能力の発達を促すとともに、生活リズムが安定するよう支援を行う。 本人の身体特性に応じて、適切な体の動かし方を身に付けられるよう支援を行う。				
	認知・行動	タイムスケジュールにそって行動できるように支援を行う。また、視覚優位の児童に対しては、構造化を用いた支援を行う。 パニック等により、本人及び周囲に不利益が生じることがないように支援を行う。 本人及び本人の周囲に危険が及ばないように、発達段階に合わせた支援を行う。 こだわり等がある場合は、周囲とのあつれきを生まない範囲で納得できるよう支援を行う。 発達段階に応じて遊びの幅を広げられるよう支援を行う。 本人の認知能力や発達特性に応じた学習支援を行う。				
	言語 コミュニケーション	本人の特性に合ったコミュニケーション方法が選択できるよう支援を行う。 発達段階に応じたコミュニケーション能力を獲得できるよう支援を行う。 相手の状況に合わせてコミュニケーション方法を選択できるよう支援を行う。				
	人間関係 社会性	周囲の児童と適切な関りが取れるよう支援を行う。 公共施設や交通機関の使い方を学べるよう支援を行う。 環境に応じたふるまい方を身に付けられるよう支援を行う。				
家族支援	児童の来所時や退所時、及び定期的な面談時に保護者と情報共有を行ない、家庭の支援に努める。また必要に応じて自宅への訪問を行い、家庭環境を整える手助けを行う。	移行支援	特別支援学校の進路指導担当教員や相談支援専門員と連携を取り、本人の特性に合った卒業先が見つかるよう、本人や保護者を支援する。			
地域支援・地域連携	地域の公共施設や公共交通機関を積極的に利用し、児童が地域で暮らす経験を積めるよう支援する。また、職場体験活動により、将来地域で暮らすイメージが持てるようサポートする。 児童センターでの体験活動により、放課後地域で過ごすことをイメージできるようサポートする。	職員の質の向上	定期的に福祉職員生涯研修や虐待防止研修などを受講し、地域自立支援協議会が実施するセミナー等へ積極的に職員を参加させる。			
主な行事等	工場見学・水遊び・雪遊び(そり遊び)・釣り・焼き芋豚汁作り・ミニ門松作り等の行事を年間数回程度実施。					